

2024年9月



Houlihan
Lokey

建設業界 マーケット動向レポート

2024年度 第1四半期

01

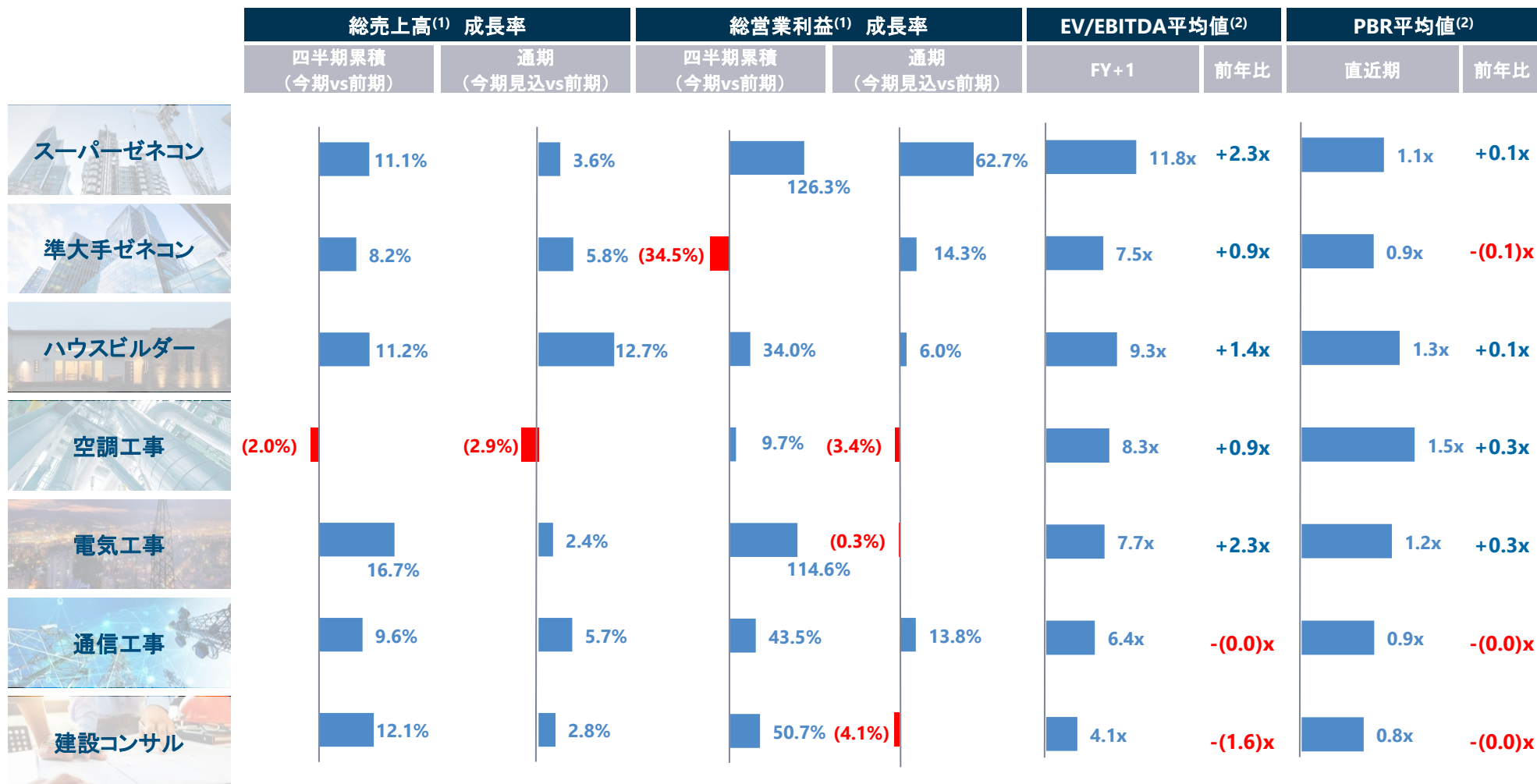
業績／株価について



Houlihan Lokey

2024年度第1四半期 建設業界の動向(サマリー)

民間・公共ともに建設需要は引き続き旺盛な状況が続き、全体としては増収増益傾向。スーパーゼネコンは前年業績からの反動増により1Q実績/通期ともに増収増益となる一方で、準大手ゼネコン・空調工事は反動減による業績の低下が見られた



Source: 各社Website、各社公表資料、Capital IQ

(1) 各業種ごとに当該業種に分類される企業の売上高、営業利益の合計値の前年実績からの変化率を記載(前期の業績がマイナスである場合はNMと記載)

(2) 各業種ごとの2024年8月22日時点の株価に基づくマルチプル及び前年比の増減を記載

各社業績の状況 大手建設プレイヤー(1/2)

堅調な受注環境・工事進捗を背景に進行期は多くの企業で売上は増収を見込む。利益面については減益を見込む企業も見られるが、資材価格・人件費の高騰による重大な影響を受けている企業数は減少しており、価格転嫁や工事採算向上の取り組みも背景にあると考えられる

各社の売上高・営業利益(前年四半期実績⇒今期四半期実績)

社名		直近決算	時価総額		四半期累積							コメント		
			8/22	騰落率	売上高			営業利益			営業利益率			
					前期	今期	前期比	前期	今期	前期比	前期		今期	
建設	スーパード	鹿島建設	'24/6	12,233	9.8%	5,835	6,132	5.1%	249	253	1.5%	4.3%	4.1%	建築・土木ともに旺盛な建設需要は継続し、増収傾向 利益面では前年度不採算案件の影響等で低迷していた大林組、大成建設が回復を見せ、1Q実績/通期予想ともに増益 清水建設については 工期後半の工事案件が少ないことが影響し、1Qは前年比減収減益 通期では多くの企業が 増収増益を見込む なか、1Q実績についても全体としては増収傾向となるも一部では大幅な減益も見られた 長谷工は前年の不動産セグメントにおける前年の大型売却の反動減、インフロニアは前年の土木事業における大型な設計変更獲得の反動減、戸田建設は人件費の増加が1Qの減益要因として挙げられる
		大林組	'24/6	13,100	43.9%	4,874	5,747	17.9%	42	154	268.9%	0.9%	2.7%	
		清水建設	'24/6	6,503	(8.4%)	4,414	4,010	(9.1%)	59	18	(70.2%)	1.3%	0.4%	
		大成建設	'24/6	11,699	29.9%	3,289	4,571	39.0%	(80)	186	NM	(2.4%)	4.1%	
	準大手	長谷工コーポレーション	'24/6	4,927	3.2%	2,639	2,848	7.9%	226	133	(41.2%)	8.6%	4.7%	
		インフロニア・ホールディングス	'24/6	3,224	(10.6%)	1,604	1,783	11.2%	52	35	(33.3%)	3.2%	1.9%	
		五洋建設	'24/6	1,796	(25.4%)	1,273	1,543	21.3%	64	70	8.2%	5.1%	4.5%	
		戸田建設	'24/6	2,996	20.2%	1,144	1,118	(2.3%)	21	(1)	(105.0%)	1.9%	(0.1%)	
		三井住友建設	'24/6	594	(3.4%)	1,113	1,119	0.6%	43	17	(61.2%)	3.9%	1.5%	
		熊谷組	'24/6	1,450	7.0%	909	1,027	13.0%	4	4	8.5%	0.5%	0.4%	
安藤ハザマ	'24/6	1,803	(0.2%)	818	837	2.3%	27	30	8.6%	3.3%	3.5%			
ハウビルダー	大和ハウス工業	'24/6	28,363	9.8%	12,146	12,872	6.0%	931	1,218	30.9%	7.7%	9.5%	大和ハウスは開発物件の売却、住友林業は米国戸建事業が業績を牽引し、両社ともに 通期業績予想の上方修正を発表 積水ハウスについても大型買収の完了に伴い、 通期業績予想の上方修正を発表	
	積水ハウス	'24/4	23,331	23.3%	7,083	7,771	9.7%	557	717	28.7%	7.9%	9.2%		
	住友林業	'24/6	12,105	51.6%	8,165	9,814	20.2%	652	933	43.0%	8.0%	9.5%		
設備工事	空調	高砂熱学工業	'24/6	3,379	80.0%	782	704	(10.0%)	23	20	(12.4%)	3.0%	2.9%	高砂熱学工業は1Qは前年同期に大型案件が集中していたこと の反動減により減収減益となるも通期では増収増益を見込む 大気社は大型案件の剥落により 減収・減益を見込む 三機工業は大型工事の牽引もあり 通期/1Qともに増収増益 全体としては大型案件の順調な進捗や受注時採算の改善等により 通期では増収増益傾向 関電工は工事採算性の低下により 通期では減益を見込む 各社通期で 増収・増益を見込み 、1Q実績ではNTT関連事業に係る売上の回復も見られた
		大気社	'24/6	1,527	3.2%	566	531	(6.2%)	33	26	(22.1%)	5.8%	4.8%	
		三機工業	'24/6	1,164	32.0%	407	485	19.2%	(0)	15	NM	(0.0%)	3.2%	
	電気	きんでん	'24/6	6,160	58.5%	1,128	1,332	18.1%	9	20	126.0%	0.8%	1.5%	
		関電工	'24/6	4,090	55.5%	1,188	1,289	8.5%	68	104	53.0%	5.7%	8.0%	
		九電工	'24/6	4,444	45.2%	862	1,072	24.3%	48	103	113.4%	5.6%	9.6%	
		中電工	'24/6	1,719	35.4%	377	457	21.2%	(6)	29	NM	(1.6%)	6.3%	
	通信	エクシオグループ	'24/6	3,164	1.9%	1,244	1,254	0.8%	25	29	17.8%	2.0%	2.3%	
		コムシスホールディングス	'24/6	3,702	1.6%	1,108	1,251	12.9%	47	71	52.7%	4.2%	5.7%	
		マイルト・ワン	'24/6	1,865	5.8%	1,005	1,173	16.7%	9	15	68.0%	0.9%	1.3%	
建設	ID&Eホールディングス	'24/6	576	15.3%	1,415	1,590	12.3%	61	139	128.0%	4.3%	8.7%	ID&Eは直近通期は資本参加先の株式上場に伴う評価益もあり 前期は大幅増益 。左記特殊要因を除けば 増益見込み 建設技術研究所は足下の業務進捗を踏まえ 通期予想の上方修正を発表(但し事業拡大に向けた投資による減益を見込む) 応用地質は災害廃棄物関連/洋上風力関連事業が牽引し 増収増益	
	建設技術研究所	'24/6	611	5.9%	476	507	6.6%	72	68	(5.3%)	15.0%	13.4%		
	オリエンタルコンサルタンツHD	'24/6	206	38.6%	588	660	12.3%	35	39	10.8%	6.0%	6.0%		
	応用地質	'24/6	537	(18.1%)	289	346	19.5%	11	24	117.9%	3.8%	6.8%		

Source: 各社Website、各社公表資料、Capital IQ

(1) 各業種毎に直近通期の売上高降順で表示

(2) 前期と比較したときの変化率について、前期の業績がマイナスである場合はNMと記載

各社業績の状況 大手建設プレイヤー(2/2)

堅調な受注環境・工事進捗を背景に進行期は多くの企業で売上は増収を見込む。利益面については減益を見込む企業も見られるが、資材価格・人件費の高騰による重大な影響を受けている企業数は減少しており、価格転嫁や工事採算向上の取り組みも背景にあると考えられる

各社の売上高・営業利益(直近通期実績⇒今期予想)

社名	直近決算 通期	時価総額		通期								コメント		
		8/22	騰落率	売上高		営業利益		今期成長率		営業利益率				
				直近期	今期予想	直近期	今期予想	売上高	営業利益	直近期	今期予想			
セメント 準大手	スーパー	鹿島建設	'24/3	12,233	9.8%	26,652	27,800	1,358	1,320	4.3%	(2.8%)	5.1%	4.7%	建築・土木ともに旺盛な建設需要は継続し、増収傾向 利益面では前年度不採算案件の影響等で低迷していた大林組、大成建設が回復を見せ、1Q実績/通期予想ともに増益 清水建設については工期後半の工事案件が少ないことが影響し、1Qは前年比減収減益
		大林組	'24/3	13,100	43.9%	23,252	25,100	794	930	7.9%	17.2%	3.4%	3.7%	
		清水建設	'24/3	6,503	(8.4%)	20,055	18,000	(247)	410	(10.2%)	NM	(1.2%)	2.3%	
		大成建設	'24/3	11,699	29.9%	17,650	19,900	265	870	12.7%	228.5%	1.5%	4.4%	
	準大手	長谷工コーポレーション	'24/3	4,927	3.2%	10,944	11,800	857	820	7.8%	(4.4%)	7.8%	6.9%	
		インフロンティア・ホールディングス	'24/3	3,224	(10.6%)	7,933	8,399	500	590	5.9%	18.1%	6.3%	7.0%	
		五洋建設	'24/3	1,796	(25.4%)	6,177	6,550	287	325	6.0%	13.1%	4.7%	5.0%	
		戸田建設	'24/3	2,996	20.2%	5,224	6,000	179	300	14.8%	67.5%	3.4%	5.0%	
		三井住友建設	'24/3	594	(3.4%)	4,795	4,550	85	125	(5.1%)	47.0%	1.8%	2.7%	
		熊谷組	'24/3	1,450	7.0%	4,432	4,622	127	150	4.3%	18.6%	2.9%	3.2%	
安藤ハザマ	'24/3	1,803	(0.2%)	3,941	4,062	186	229	3.1%	23.2%	4.7%	5.6%			
ハウスビルダー	大和ハウス工業	'24/3	28,363	9.8%	52,029	53,500	4,402	4,300	2.8%	(2.3%)	8.5%	8.0%	大和ハウスは開発物件の売却、住友林業は米国戸建事業が業績を牽引し、両社ともに通期業績予想の上方修正を発表 積水ハウスについても大型買収の完了に伴い、通期業績予想の上方修正を発表	
	積水ハウス	'24/1	23,331	23.3%	31,072	38,750	2,716	3,000	24.7%	10.5%	8.7%	7.7%		
	住友林業	'23/12	12,105	51.6%	17,332	20,950	1,468	1,800	20.9%	22.7%	8.5%	8.6%		
設備工事	空調	高砂熱学工業	'24/3	3,379	80.0%	3,634	3,700	242	257	1.8%	6.2%	6.7%	6.9%	高砂熱学工業は1Qは前年同期に大型案件が集中していたことの影響により減収減益となるも通期では増収増益を見込む 大気社は大型案件の剥落により減収・減益を見込む 三機工業は大型工事の牽引もあり通期/1Qともに増収増益
		大気社	'24/3	1,527	3.2%	2,936	2,580	183	140	(12.1%)	(23.4%)	6.2%	5.4%	
		三機工業	'24/3	1,164	32.0%	2,219	2,250	116	125	1.4%	7.9%	5.2%	5.6%	
	電気	きんでん	'24/3	6,160	58.5%	6,545	6,600	427	440	0.8%	3.1%	6.5%	6.7%	
		関電工	'24/3	4,090	55.5%	5,984	6,000	409	370	0.3%	(9.6%)	6.8%	6.2%	
		九電工	'24/3	4,444	45.2%	4,691	5,000	379	395	6.6%	4.2%	8.1%	7.9%	
		中電工	'24/3	1,719	35.4%	2,010	2,100	119	125	4.5%	4.6%	5.9%	6.0%	
	通信	エクシオグループ	'24/3	3,164	1.9%	6,141	6,300	335	360	2.6%	7.3%	5.5%	5.7%	
		コムシスホールディングス	'24/3	3,702	1.6%	5,712	6,000	391	400	5.0%	2.2%	6.8%	6.7%	
		ミライト・ワン	'24/3	1,865	5.8%	5,184	5,700	178	270	10.0%	51.4%	3.4%	4.7%	
建	ID&Eホールディングス	'24/6	576	15.3%	1,590	1,650	139	122	3.8%	(12.0%)	8.7%	7.4%	ID&Eは直近通期は資本参加先の株式上場に伴う評価益もあり前期は大幅増益。左記特殊要因を除けば増益見込み 建設技術研究所は足下の業務進捗を踏まえ通期予想の上方修正を発表(但し事業拡大に向けた投資による減益を見込む) 応用地質は災害廃棄物関連/洋上風力関連事業が牽引し増収増益	
	建設技術研究所	'23/12	611	5.9%	931	970	100	96	4.2%	(4.1%)	10.8%	9.9%		
	オリエンタルコンサルタンツHD	'23/9	206	38.6%	782	790	39	41	1.1%	5.6%	5.0%	5.2%		
	応用地質	'23/12	537	(18.1%)	656	660	29	35	0.6%	20.6%	4.4%	5.3%		

Source: 各社Website、各社公表資料、Capital IQ

(1) 各業種毎に直近通期の売上高降順で表示

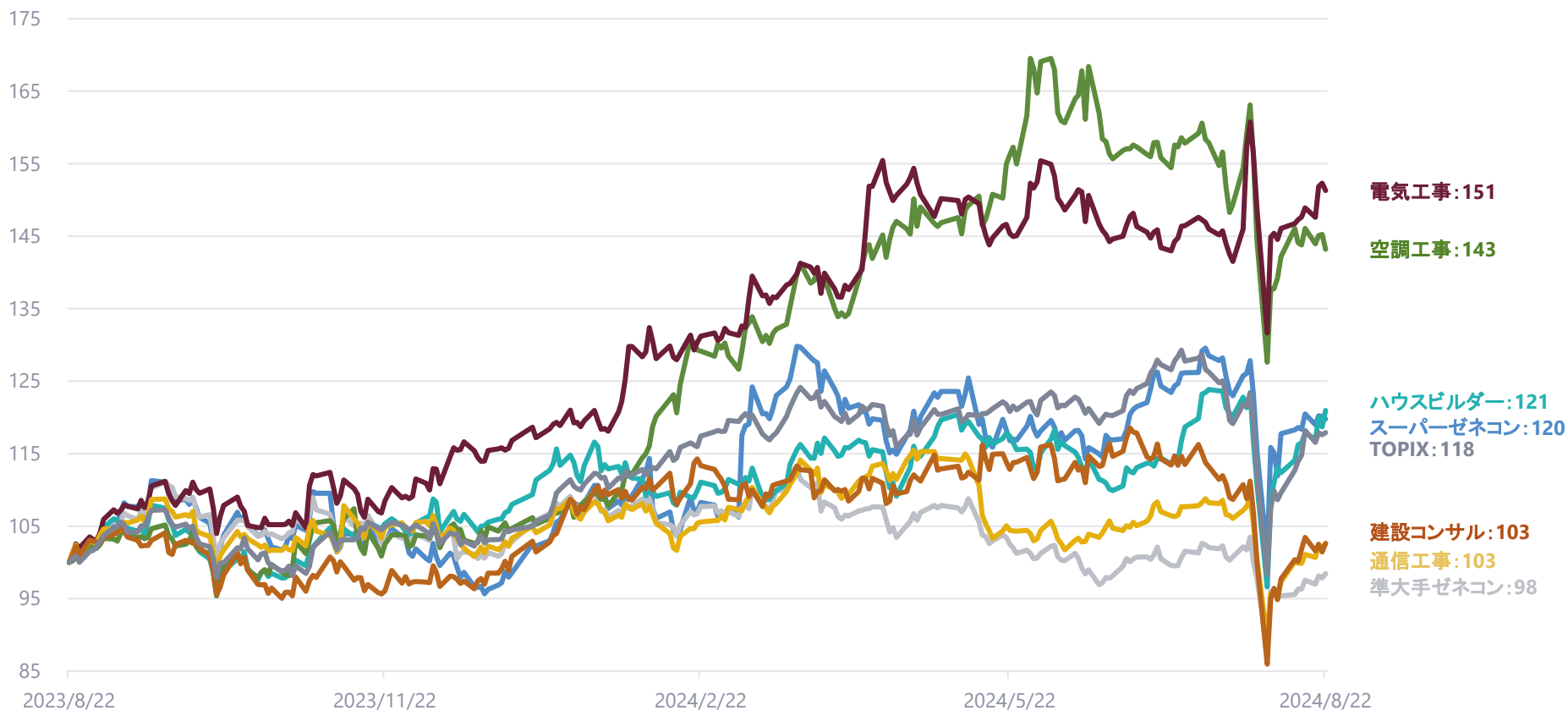
(2) 前期と比較したときの変化率について、前期の業績がマイナスである場合はNMと記載

直近1年間の株価動向

昨年に引き続き、業績が好調な空調工事、電気工事プレイヤーが相対的に高い水準で推移
2024年8月初旬の日本株全体の株価急落を受け建設銘柄も一律下落を見せたが足下では回復傾向

建設関連企業の業種別時価総額推移

- 各業種ごとの2023年8月22日の時価総額(自己株除く)合計値を100としたときの推移

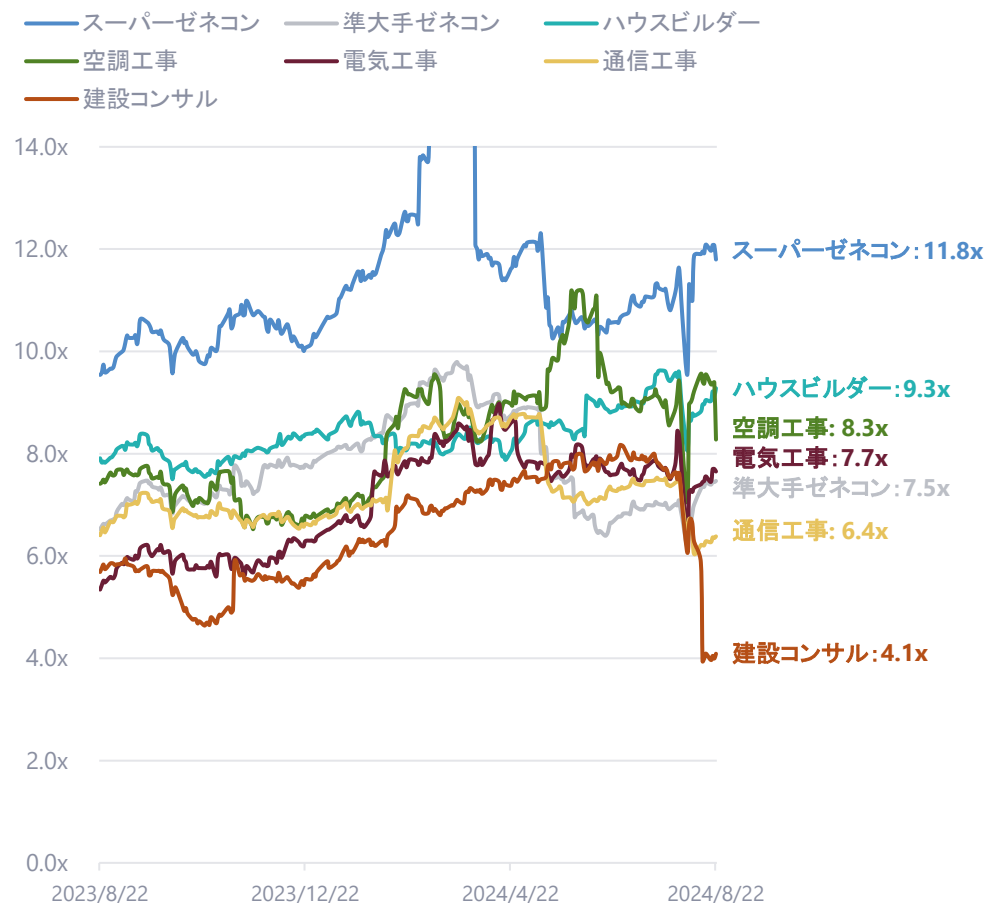


Source: Capital IQ、各種公表情報

直近1年間のバリュエーション推移

2024年8月初旬の下落はあったものの、直近1年間の株価上昇トレンドに従い、マルチプルとしても概ね微増傾向

業種別EV/EBITDA⁽¹⁾マルチプル推移



建設業各社の株価倍率⁽¹⁾

	EV/EBITDA	平均値	PBR	平均値
スーパーゼネコン	鹿島建設	9.8x	1.0x	
	大林組	12.1x	1.2x	1.1x
	清水建設	13.0x	0.8x	+0.1x
	大成建設	12.3x	1.3x	
準大手ゼネコン	長谷工コーポレーション	8.2x	1.0x	
	インフロンIAHD	7.5x	0.8x	
	五洋建設	6.1x	1.1x	
	戸田建設	12.5x	0.9x	0.9x
	三井住友建設	5.4x	0.9x	-0.1x
	熊谷組	6.4x	0.8x	
	安藤ハザマ	6.2x	1.2x	
ハウスビルダー	大和ハウス工業	8.4x	1.1x	
	積水ハウス	11.1x	1.3x	1.3x
	住友林業	8.4x	1.4x	+0.1x
空調	高砂熱学工業	12.6x	2.1x	1.5x
	大気社	6.1x	1.1x	+0.3x
	三機工業	6.2x	1.2x	
電気	きんでん	7.9x	1.1x	
	関電工	6.8x	1.2x	1.2x
	九電工	8.0x	1.5x	+0.3x
	中電工	7.9x	0.8x	
通信	エクシオグループ	7.6x	1.0x	
	コムシスHD	5.6x	1.0x	-0.0x
	ミライト・ワン	5.9x	0.8x	
建設コン	ID&E HD	4.8x	0.6x	
	建設技術研究所	2.7x	1.0x	0.8x
	オリエンタルコンサルタンツHD	4.2x	0.8x	-0.0x
	応用地質	4.8x	0.7x	
全体平均:		7.8x (+0.9x)	全体平均:	1.1x (+0.1x)

Source: Capital IQ

(1) Capital IQが提供する今期見込EBITDAのアナリストコンセンサス予想値が取得可能な企業については当該数値に基づくマルチプル、取得できない企業については営業利益の会社予想値と減価償却費・のれん償却の直近実績値を用いて算出したEBITDAに基づくマルチプルを採用

(2) 清水建設が2024年2月8日に大幅な業績予想の下方修正を発表したことにより一時的にマルチプルが急騰したことに伴いスーパーゼネコンの平均マルチプルも大きく増加

02

2024年の建設業界におけるM&Aについて



Houlihan Lokey

2024年の建設業界における主要M&A

2024年は年初に積水ハウスによる超大型の米国企業買収があったものの、特に活況だった昨年の国内建設M&Aマーケットとの比較ではやや落ち着きが見られる状況

#	公表日	買手	対象会社			金額 (百万円)	取得比率
			企業名	事業概要	本本国		
1	2024/01/10	大和ハウス工業	ジョーンズ・カンパニー・オブ・テネシー	宅地開発、分譲住宅/注文住宅販売	米国	na	0% → 100%
2	2024/01/19	積水ハウス	MDCホールディングス	戸建住宅事業	米国	687,900	0% → 100%
3	2024/02/02	ニューホライズンキャピタル	大翔、ユメテック	斜面安定工事	日本	na	na
4	2024/03/11	MCPキャピタル	丸友開発	解体工事、土木工事、環境対応事業	日本	na	0% → 50%超
5	2024/03/19	オアシス・マネジメント・カンパニー	熊谷組	総合建設業	日本	5,317	7.29% → 10.38%
6	2024/03/26	ミライト・ワン	光陽ホールディングス	電力工事、電気設備工事、建築工事、電気通信工事	日本	na	na
7	2024/04/02	伊藤忠商事	清田工業	空調設備工事	日本	na	0% → 80%
8	2024/04/09	プライムライフテクノロジーズ	増田組	総合建設業	日本	na	0% → 100%
9	2024/04/16	光通信	暁飯島工業	空調衛生等設備工事	日本	238	13.19% → 21.2%
10	2024/04/26	トーエネック	トライエン・トーエネック	電気・空調工事	タイ	812	30% → 49%
11	2024/05/09	ゴールドマンサックス 日本ハウズイング経営陣	日本ハウズイング	マンション事業、ビル管理事業、不動産管理事業	日本	94,288	0% → 100%
12	2024/05/10	サンゲツ	D' Perception Pte. Ltd.	空間デザイン、総合施工	シンガポール	na	0% → 70%
13	2024/05/13	大和ハウス工業	プレステージ・コーポレート・デベロップメント	土地開発、土地造成請負	米国	na	0% → 100%
14	2024/06/07	大成建設	平和不動産	証券取引所、オフィス、商業施設の賃貸事業 収益用不動産や住宅の開発、販売、仲介等	日本	29,222	1.5% → 20.1%
15	2024/06/20	ミサワホーム	ビジョナリーホーム	戸建・集合住宅建設、販売	米国	na	0% → 51%
16	2024/07/26	新菱冷熱工業	GMP Technical Solutions	クリーンルームパネル製造	インド	na	0% → 85%
17	2024/08/01	エクシオグループ	インタラクティブ・コミュニケーション・デザイン	システムソリューション/サービス	日本	na	0% → 100%
18	2024/08/08	JFEエンジニアリング	きんぱい	ガス配管工事	日本	na	0% → 66.7%

Source: MARR、会社Website、各社公表資料

ゴールドマン・サックスによる日本ハウズイングのMBO

より中長期的な経営戦略のための投資を行う体制の構築を目的に、日本ハウズイング経営陣はゴールドマン・サックスをパートナーとしてMBOを実施。事業変革を推し進めた後、最終的には再上場を目指す

案件概要

- 案件概要
- 2024年5月9日に、ゴールドマン・サックス・グループは、日本ハウズイングの非公開化を目的とする公開買付の開始予定を発表
 - 対象会社の流通株式比率が14.3%と上場維持基準の25%を下回っていたこともあり、23年3月より6社のパートナー候補から非公開化や企業価値向上戦略の提案を受け、最終的に24年1月下旬に実施を決定
 - 筆頭株主であるリログループ、及び創業家とは事前に応募契約を締結。リログループは、2008年に日本ハウズイングが原弘産から敵対的TOBを受けた際に、ホワイトナイトとして対象会社の筆頭株主となる
 - 既存事業における事業基盤の強化、M&Aを活用した国内事業の拡大、海外事業基盤の再構築の3点を推し進め、再上場を目指す

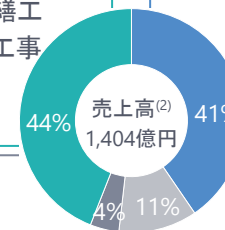
事業概要

営繕工事事業

建物・設備営繕工事並びに外壁塗装工事等の大規模修繕工事、専有部分のリフォーム工事及び新築工事等

マンション管理事業

分譲マンションの管理員業務、清掃・設備管理・保全の各業務、管理組合の決算・運営補助業務等マンションの総合的管理業務等



不動産管理事業

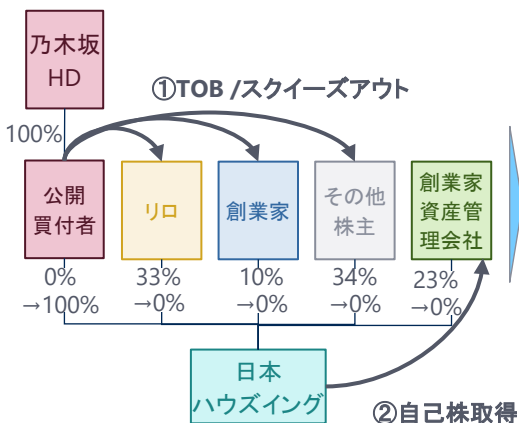
オーナー所有物件の建物管理・賃貸管理代行及びサブリース業務、不動産の売買・仲介業務等

ビル管理事業

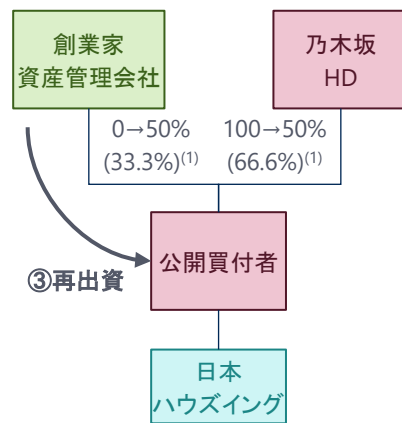
ビルの環境衛生清掃・保安警備・受付・設備管理・保全の各業務及びビルの総合的管理業務等

ストラクチャー概要

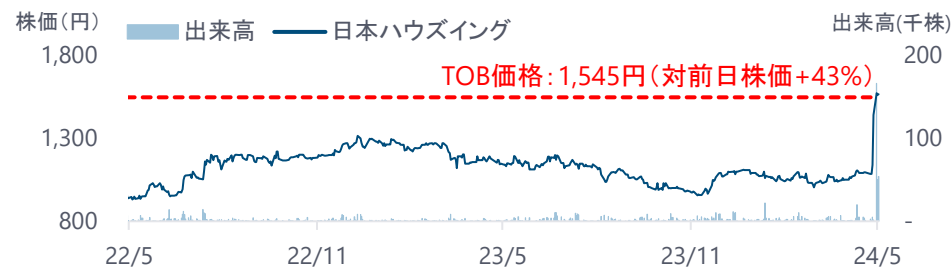
1.公開買付+自己株取得による非公開化



2.創業家による再投資



バリュエーション



TOB総額	769	EV/EBITDA(今期見込)	8.3x
自己株式取得総額	173	PER(直近通期)	94.8x
株式価値(100%ベース)	943	PBR(直近通期)	2.2x
Net Debt	(153)		
非支配株主持分	10		
企業価値	800		

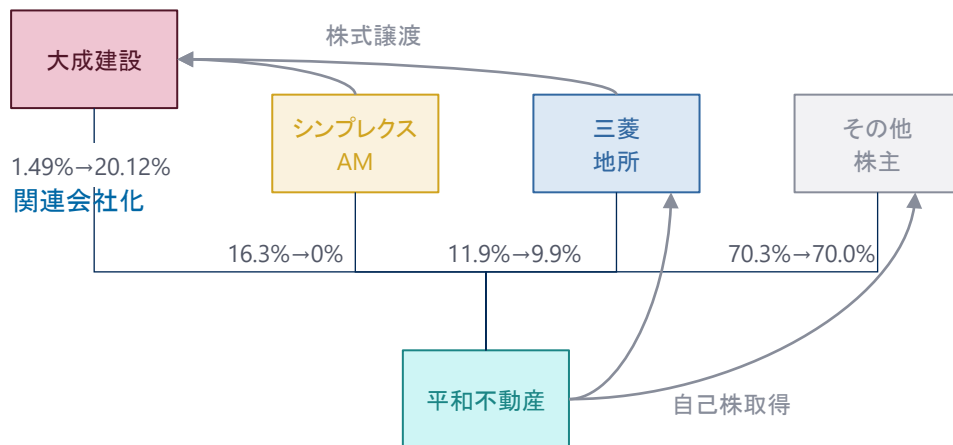
大成建設と平和不動産の資本業務提携

大成建設は平和不動産を関連会社化し、日本橋兜町地区の再開発事業等の拡大を目指す

本件概要

- 2024年6月7日、大成建設は平和不動産及び三菱地所との3社間の資本業務提携契約締結を発表
- 平和不動産は再開発事業の拡大、利益成長と資本効率向上の両立、社会価値の向上といった目標を達成するための提携先を検討してきた
- 本契約に基づき、三社は再開発事業分野、新規事業分野、サステナビリティ・DX分野にて積極的に相互協力していく
- 大成建設は平和不動産の筆頭株主であったシンプレクスアセットマネジメントの保有する株式の全部及び三菱地所の保有する同社株式を一部取得(シンプレクスアセットマネジメントは2019年11月より平和不動産株式を保有(取得原価約145億円))
- 併せて平和不動産は、三菱地所及びその他株主から自己株式取得を行い、最終的に大成建設は20.12%を保有し、筆頭株主として平和不動産を関連会社化

ストラクチャー



大成建設のM&A方針と本件意義

		事業フェーズ			
		企画	設計	施工	O&M
事業分類	デジタル	街づくりDX	設計DX	建設DX BIM/CIM	デジタルツイン
	計画段階	企画開発	設計エンジ	1 施工管理	AM PM
	現実				
	実施段階	用地取得	調査測量	2 専門工事	警備清掃

4 海外

大成建設は、中期経営計画において4つのM&A検討領域を提示

- 1 業界再編を目指す水平統合
- 2 担い手確保・省人化を図る垂直統合
- 3 新たな価値提供を目指すバリューチェーン統合
- 4 事業拡大を目指す海外展開

本件は日本橋兜町地区の再開発をはじめとする③実現のための資本業務提携と考えられる

バリュエーション



取得価額合計	株式価値 ⁽¹⁾	企業価値	EV/EBITDA ⁽²⁾	PER ⁽²⁾
292	1,680	3,623	20.0x	19.8x

※25/3期業績の会社予想値は
売上高: 416億円、EBITDA: 181億円、純利益: 85億円

留意事項

本プレゼンテーションは、フーリハン・ローキー株式会社（以下「フーリハン・ローキー」又は「弊社」という。）が貴社（以下「貴社」又は「受領者」という。）の為に、貴社内部限りの利用を前提として作成したものです。本プレゼンテーションは、貴社により今後実行される可能性のある一つ又は複数の取引について予備的な評価をする際の補助とすることを目的として作成されたものであり、本プレゼンテーションの内容の一部又は全部を公表する権利、また、いかなる第三者に対しても開示する権利も受領者に付与するものではありません。本プレゼンテーションは、貴社と協議する際の資料としての使用の為にのみ作成されたもので、弊社による口頭説明によって補完され、かつ、その説明との関連においてのみ考察されるべきものです。弊社の事前の書面による同意なしに、本プレゼンテーション及びその内容を他のいかなる目的にも使用することはできません。

弊社は、公共の情報源から入手した情報、その他弊社が独自に入手・検討した情報が、全て正確かつ完全であることを前提とし作成されたものであり、当該情報は、受領者が本取引を進めるか否かを評価するために必要とする可能性のあるすべての情報を含むとは限りません。フーリハン・ローキーならびにその役員、取締役、従業員、代理人および関係者は、本プレゼンテーションに含まれる情報（将来の予測、事業の推測、見込みまたは利益に関する成果または合理性を含む。）または受領者もしくはそのアドバイザーに対して書面もしくは口頭で提供されるその他一切の情報の正確性、完全性、クオリティ、妥当性または適切性に関し、現在または将来において、明示的にも黙示的にも表明または保証を行わず、義務または責任を負わず、かつ、それらの一切の責任は明示的に免責されます。本プレゼンテーションに含まれる一切の情報に関し、フーリハン・ローキーは独自の検証を行っていません。

本プレゼンテーションの内容は、法律、税務、規制、会計または投資に関する助言または勧告として解釈してはならないものとします。いかなる受領者も、本取引に関する法的事項その他の関連事項に関し、独自のカウンセル、税務アドバイザーおよび財務アドバイザーと相談すべきです。本プレゼンテーションは、すべての情報を網羅することを意図しておらず、また、貴社が必要とする可能性のあるすべての情報を含むことを意図していません。





Houlihan
Lokey

フーリハン・ローキー株式会社
〒100-6230 東京都千代田区丸の内 1-11-1
パシフィックセンチュリープレイス丸の内30階
+81 3 6212 7100
CORPORATE FINANCE
FINANCIAL RESTRUCTURING
FINANCIAL AND VALUATION ADVISORY

HL.com